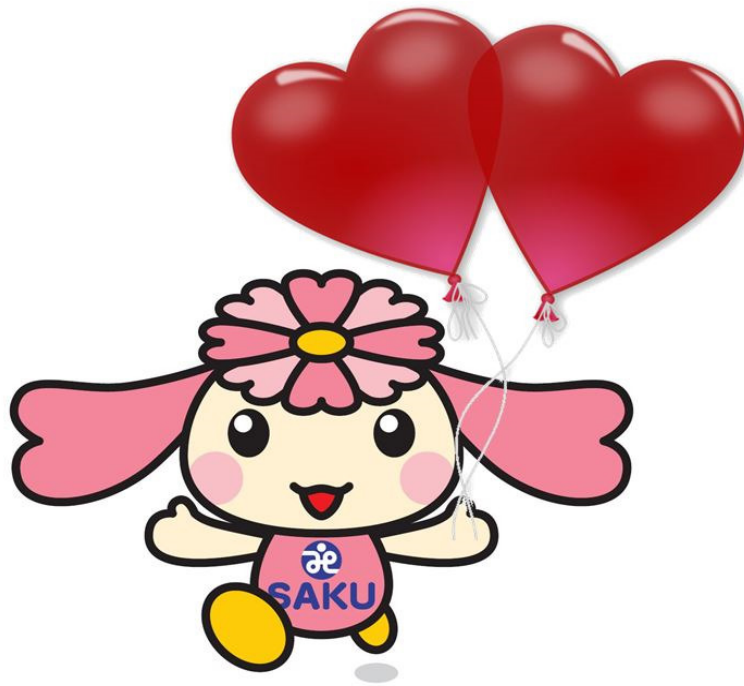


第20期(令和6年度)  
事業計画書



佐久市社協イメージキャラクター「さーくちゃん」

社会福祉法人 佐久市社会福祉協議会

# 令和6年度事業計画

## I 基本理念

### 「人と人がつながり 支え合う地域づくり」

佐久市社会福祉協議会の基本理念「人と人がつながり 支え合う地域づくり」を目指し、地域福祉を推進する中核的な団体として、「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」を推進することを使命としています。この使命を達成するため、社会福祉関係団体やNPO法人、地域の方々と連携して、国や自治体の福祉制度では補いきれない地域の課題解決に取り組み、その連絡調整役を担っていきます。

## II 基本目標

### (1) 共に支え合う人づくり

地域住民同士の自主的・主体的な支え合いの意識を啓発し、市民の連帯意識を高め、積極的に地域活動に関ることができる人材の育成と、地域活動を支える組織の育成や活性化を図ります。

### (2) 安心して暮らせる地域づくり

安心して子どもを産み育てられる仕組みづくりや、地域住民がお互いに支え合う地域コミュニティの形成を目指します。さらに、すべての市民が安心して暮らせる地域を築くための自主防災活動や、犯罪から地域を守る自主防犯活動を中心とした助け合い活動の充実を図ります。

### (3) 生涯にわたる心とからだの健康づくり

市民すべてが、健康で生きがいを持って暮らせるよう、いつでも、どこでも学習できる環境の整備を進めます。また、優れた知識・技術や知恵を持つ元気な高齢者が、地域活動に参加しやすい仕組みづくりを進めます。

# 事業方針・重点目標

## 法人運営（総務課）

### 1 法人運営の強化

適切な法人運営や事業経営を行うとともに、総合的な企画や各部門別の事業調整などを行い、社協事業全体の組織管理（マネジメント）業務を目指します。また、職員一人ひとりが、コンプライアンスの意識を持って行動し、常に課題意識を持ち、事務事業の目的に沿って職員自ら考え行動できるよう意識改革に努め、組織全体の基盤強化を図ります。

#### （1）第一次発展・強化（改善）計画に沿った具体的な事業展開

発展・強化（改善）計画の前年度評価を行い、それに基づき実施状況の進行管理を行い、本協議会を取り巻く社会情勢の変化等を踏まえながら、必要に応じて計画を見直していきます。また、地域社会の変化と複雑化・多様化する福祉課題・生活課題の対応に向け、第一次発展・強化（改善）計画最終年度となることから、本年度、佐久市社会福祉協議会「第二次発展・強化（改善）計画」策定に向けて委員会を開催します。

#### （2）職員の資質向上及び人材育成

- 各事業所で上司や先輩からの日常の指導及び研修を実施し、社会福祉協議会職員としての対応や、業務の知識・技術の向上を図ります。
- 他の機関が主催する研修に積極的に参加します。
- 職員同士と部署間の情報共有に努め、お互いの役割を認識し、将来自分が目指すべき目標を明確にして、スキルアップや資格取得を支援します。
- 人事評価制度の見直しや改善による労働基盤の整備を行います。

#### （3）社協の見える化・見せる化の推進

住民主体を原則とする本協議会にとって、住民からの理解と支援はその役割を担う上で大きな原動力となります。これまで以上に活動の内容や財源の使途などについて、ホームページ、X（旧ツイッター）、インスタグラムに加え、LINEを使用し、幅広い世代に向け、社協の見える化・見せる化の推進を図ります。また、多くの世代に見て読んでもらえるような社協報「びーぷる」の作成に努めます。

#### **(4) 人材育成支援**

将来の福祉人材の育成に貢献するため、年間を通して実習生の受け入れをします。

## **2 事業実施の財源確保**

#### **(1) 財源確保と事業の見直し**

全職員が財源の確保と事業の見直しを図り、適切な事業運営と経営改善に努めます。また、例月の運営会議において、社協の経営状況の把握と対策を協議します。

#### **(2) 社協会費と共同募金の使途の丁寧な説明**

社協会費と共同募金は、社協が地域福祉活動を進めていくための根幹となる貴重な財源であるとともに、地域で暮らす住民の皆さん、企業や団体の皆さんが地域福祉活動に参加していただく方法の一つです。ご協力いただいた会費や共同募金がどのように使われているか活用方法などを社協報「ぴーぷる」に掲載するほか、ホームページやSNSまたは報道機関を通じ広く、市民の皆様へわかりやすい周知に努め、理解を深めていきます。

## 地域福祉の推進（福祉課）

### 1 ファミリーサポート事業「ほっと・ホット」の充実（育児支援）

- 働き方等により、子育ての環境が大きく変化しており、育児をする中で抱える課題や相談が多様化しています。子育ての手助けをして欲しい人と、子育てのお手伝いをしたい人が登録し、必要な家庭に対し支援会員が有償でお手伝い（支援）します。さらに、相談があった場合は子どもに対する支援だけでなく、悩みを抱えるお母さんの支援に努め関係機関へ繋がります。
- 育児支援会員の協力をいただき、「乳幼児一時預かり事業」を実施します。
- 育児支援会員が意欲を持って支援に当たれるよう、研修会を開催します。
- 利用会員の状況により、市と連携をとります。

### 2 ふれあいいいききサロン事業の充実（世話人交流会事業含む）

- 高齢者等の閉じこもりや認知症予防、地域づくりを目的に、地区の集会施設を利用した区単位でのサロン（お茶のみ会）の開催を支援します。
- 未開催の区に対し、事業の実施ができるよう、区長や民生児童委員等に積極的に声掛けを行い、サロンに対する理解を深めていただきます。
- サロン開催をしている区へは、実施内容について「お役立ち表一覧」として情報提供するほか、運営する中での課題について解決できるよう、助言を行います。
- サロンの運営に関わる世話人を対象に、資質向上や横のつながりを強化するため交流会を開催します。

### 3 ボランティアセンター事業の充実

- 多世代の方に地域の活動やボランティア活動に興味を持ってもらえるよう、きっかけづくりの講座を開催します。
- ボランティア活動を希望する方へ活動を紹介できるよう、既存の活動だけでなく、市や企業等とも連携し、充実した活動につなげられるよう活動の発掘を行います。
- 地域の方々とのつながりや絆が希薄になっていく中で、子どもの居場所づくり・温かい食事の提供・世代間交流を目的に、「さーくちゃんち（家）でごはんを食べよう」を実施します。広報やSNS等を活用して、ご協力いただけるボランティアの募集、開催日時等の告知、併せてフードドライブの協力について積極的に行います。

### 4 第四次佐久市地域福祉活動計画に基づく事業の推進

- 第四次佐久市地域福祉活動計画（令和5年度から令和9年度）に定められた目標に沿った取り組みを進めるとともに、市と連携を図り地域福祉事業の推進に努めます。

## 5 地区社会福祉協議会事業の充実

- 地域住民に身近な社協として設置している7地区（浅間、野沢、中込、東、白田、浅科、望月）社会福祉協議会の地域福祉活動に対して助成し支援を行います。
- 地区社会福祉協議会事業を通して、各区等と地区社会福祉協議会担当職員との顔の見える関係づくり、連携し合える地域づくりに取り組みます。

## 6 断らない相談支援の充実

- 社会が多様化・複雑化する中で、日常生活上に様々な困りごとが増加しています。そのため、福祉課に相談支援係を新たに設置し、支援体制の強化を図るとともに、自立した生活を地域で支えるために、行政や自立相談支援機関「まいさぼ佐久市」、生活福祉資金貸付制度等の相談業務を通して、様々な悩みを抱える方の解決に努めます。

### （1）権利擁護事業

高齢者や障がいのある方々が、住み慣れた地域で安心して自立した生活が送れるように、福祉サービスの利用などに関わる相談や援助をする「日常生活自立支援事業」を行います。また、「さく成年後見支援センター」では、成年後見制度の利用方法や、法人後見等の相談を行います。

### （2）生活困窮者支援

低所得者・高齢者・障がい者・失業者等で、貸付を行うことにより自立が見込める世帯で、返済が可能な方を対象に「生活福祉資金貸付事業」を行います。また、生活困窮者に対し「家計改善支援事業」を行い、収支の改善を図ります。

### （3）緊急小口資金等特例貸付実施後の相談支援体制強化事業

新型コロナウイルス感染拡大に対する緊急小口資金特例貸付後、償還が困難になっている世帯や新たな生活課題を抱えている世帯などに「生活就労支援センター まいさぼ佐久市」と連携しながら相談支援体制の強化を図ります。

## 介護保険・障害福祉サービス（在宅サービス係）

### 1 介護保険事業

- (1) 個々に合わせた自立支援を目指すとともに、地域のニーズを把握し創意工夫をしながら、地域に選ばれる施設として、地域の福祉向上に努めます。
- (2) サービスの質の向上と、職員のスキルアップを目指した研修を実施し、利用者の安全・安心を確保するためリスクマネジメントに努めます。
- (3) 利用施設が老朽化しているため、市と相談する中で計画的な修繕を行い、利用者に影響が出ないよう連携を図ります。

### 2 障害福祉サービス

- (1) 特定相談支援事業所は、関係機関やサービス事業所と連携しながら、利用者の相談に対応できるように、職員のスキルアップを図り、事業の安定、サービスの向上に努めます。
- (2) 就労継続支援B型事業所は、利用者の就労意欲が高まるよう、利用者にあった作業の開拓、自主製品の開発、施設外就労等の創意工夫に努めます。利用者の能力開発や向上に努めるとともに、職員の資質向上を図ります。
- (3) 「佐久市社協多機能型事業所くれよん」は、利用者及び家族（保護者）から選ばれる施設を目指し、安定した運営に努めます。利用者個々の特性に応じた支援ができるように職員のスキルアップを図ります。

# 事業計画（詳細）

## 法人運営部門

### 1 法人運営

#### （実施目的）

佐久市社会福祉協議会定款第1条の目的を達成するための組織運営を支える人事・経理を中心とした総合的な管理部門としての運営に努め、地域福祉活動の推進を図ります。

#### （中長期目標）

適切な法人運営や事業経営を行うとともに、総合的な企画や各部門別の事業調整などを行い、社協事業全体の組織管理（マネジメント）業務を目指します。

#### （令和6年度目標）

項目 \ 年度	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
運営補助金	56,600,000 円	53,200,000 円	49,900,000 円	54,000,000 円
職員研修	3 回	3 回	3 回	4 回

#### （具体的な取組：何をいつまでに）

- 1 発展・強化（改善）計画に沿って具体的な事業展開を行います。
  - 令和5年度事業評価を実施します。（7月）
  - 第二次発展・強化（改善）計画策定に向けて委員会を開催します。（新）
- 2 佐久市社会福祉協議会の今後の展望について、方向性を定め、長期的展望を示します。
- 3 全職員が財源の確保と事業の見直しを図り、適切な事業運営と経営改善に努めます。
  - 運営会議（会長・事務局長・課長・係長・管理者が出席）を毎月開催し、社協の経営状況の把握と事業の見直しまたは指定管理受託事業等の問題点等について協議します。
  - 5月末までに令和5年度事業報告・決算、11月に中間決算、2月に令和7年度事業計画・予算を作成します。
- 4 表彰規程に基づく表彰等の実施を行います。
- 5 職員の資質向上を図る職員研修（リーダー養成含む）の開催及び受講と適正な職員配置を行います。また、年齢構成を考慮した計画的な職員採用を行います。
  - 職員研修会を開催します。
  - 研修計画に基づき将来の人材育成を念頭に、研修受講を進めます。
- 6 職員の健康管理
  - 職員の健康診断の実施を行います。
  - 健康サポート（保健指導）の実施を行います。
  - インフルエンザ予防接種の実施を行います。
- 7 職員互助会活動
  - 職員同士の交流、相互互助を図ることで、働きやすい職場づくりを進めます。



- 8 事業継続計画（BCP）の見直しを行います。（新）
- 9 オンライン等を活用した事業の推進を図ります。（新）

## 2 部会委員会

### （実施目的）

理事会・評議員会・各種委員会は、円滑な運営ができるよう、社会福祉法に基づいた適正な事務処理及び連絡調整を行い会議の開催をします。

### （中長期目標）

理事・評議員の選出団体組織との連携ができる理事会・評議員会を目指します。

### （令和6年度目標）

年度 項目	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
理事会	5 回	5 回	8 回	6 回
評議員会	4 回	4 回	5 回	4 回
監査	2 回	2 回	5 回	2 回
評議員選任・解任委員会	2 回	4 回	2 回	3 回

### （具体的な取組：何をいつまでに）

- 1 意見交換会（勉強会）など定期的に会議を開催し、理事・評議員等の意見を聞く場を増やし連携強化を図ります。
- 2 本協議会の執行状況を確認しながら、理事会・評議員会を開催します。
- 3 理事、評議員等を対象とした視察研修の実施を行います。（9月～11月頃）

## 3 会費活動

### （実施目的）

市民の皆さんが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指すため、地域福祉事業の財源確保を目的に、市民の皆さんから会費の協力をいただく。毎年7月に、一世帯1,000円を目安に協力依頼を行います。

### （中長期目標）

全世帯が会員（会費納入）となり、本協議会の事業や地域福祉へ参加いただくことを目指します。

### （令和6年度目標）

年度 項目	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
会費額	21,454,360 円	21,395,280 円	20,613,608 円	21,000,000 円
会員数	22,055 世帯	22,099 世帯	21,226 世帯	21,000 世帯
加入率	63.6%	62.8%	62.2%	61.1%

(具体的な取組：何をいつまでに)

- 1 本協議会の事業を周知するために広報誌を活用し、社協活動のPRを行います。
- 2 報道機関等に依頼し会費の使用目的、使途の周知についてPRします。(新)
- 3 賛助会員制度を関係者の協力をいただき確立していきます。
- 4 会員数の実態調査・分析を行い、会員数を増やすための取り組み強化を図ります。
- 5 7月より市内の各世帯にお願いできるように準備を進めます。
- 6 日赤活動資金の募集との連携を図ります。
- 7 福祉体験教室を通じて、若い世代へ本協議会の使命や存在をPRします。

## 4 啓発宣伝

(実施目的)

本協議会の幅広い事業を市民の皆様にご覧いただくための啓発活動として、広報誌「ぴーぷる」やHP等を利用し、本協議会のPRを図ると共に地域福祉についての啓発宣伝活動を推進します。

(中長期目標)

本協議会の使命、事業内容を分かりやすく、興味、関心を持ってもらえる情報を届けます。

(令和6年度目標)

年度 項目	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
HPアクセス数	17,232 件	25,668 件	26,097 件	27,000 件
ぴーぷる発行部数	211,800 部	211,800 部	211,800 部	211,800 部

(具体的な取組：何をいつまでに)

- 1 YouTube等の動画を作成し、ネットでのPRを行います。
- 2 広報誌「ぴーぷる」編集体制の改善強化と読んでもらえる紙面づくり等に取り組みます。
- 3 広報誌「ぴーぷる」やHPにバナー広告の掲載について検討します。
- 4 タイムリーな情報発信・更新ができるように、全職員がHP・ツイッター・インスタグラム、LINE等の操作方法を習得します。
- 5 民間メディアの広報媒体を積極的に活用し、効果的な情報発信を行います。
- 6 読みたくなるような広報誌の実現に向けて伝えたい情報中心の(事業のお知らせ等)記事とします。また、世代層によっては、SNS等での情報発信を行うように工夫をします。(新)

## 地域福祉部門（ボランティア活動の推進）

### 5 ボランティアセンター活動事業（ボランティア活動の充実）

#### （実施目的）

ボランティア活動に関する相談や情報提供、活動先の紹介を行うことを目的に、ボランティアコーディネーターが中心となって、ボランティア活動の啓発やきっかけづくり、またボランティア活動保険に関する相談と受付手続き等を行います。

#### （中長期目標）

ボランティア活動の充実を図ります。

#### （令和6年度目標）

- 1 広報誌「ぴーぶる」やHP等を活用し、ボランティア情報や事業の紹介とボランティアセンターの知名度を上げます。
- 2 地区サロン等へ積極的に向き、地域の困りごと収集を行います。
- 3 市内4地区で（佐久・臼田・浅科・望月）さーくちゃんち（家）でごはんを食べようを開催します。

年度 項目	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
ボランティア団体数	429 団体	73 団体	90 団体	90 団体
ボランティア登録者数	3,996 名	1,730 名	2,200 名	2,300 名

#### （具体的な取組：何をいつまでに）

- 1 4月～令和7年3月：地区サロン等でボランティアセンターの紹介チラシを配布し、ボランティアセンターの知名度を上げます。
- 2 4月～令和7年3月：地区サロン等へ積極的に向き、アセスメントシートを活用し、地域の困りごとの情報収集をします。
- 3 4月～令和7年3月：年間を通して「さーくちゃんち（家）でごはんを食べよう」を実施します。

### 6 災害ボランティア事業

#### （実施目的）

##### （災害ボランティア講座）

もしもの災害時に、市民自らが防災意識をもってもらい知識習得により防災力を高めることを目的に開催します。

##### （災害ボランティアセンター設置運営事業）

市内において、地震、風水害等の甚大な災害が発生した際は、住民ボランティア及び災害ボランティア登録者を受け入れ、関係機関との連絡、適正な情報収集・提供・ボランティアの需要と供給を調整するなど、迅速な対応を行うための佐久市災害ボランティアセンター（以下「災害VC」という。）を設置することを目的とします。

(中長期目標)

- ・発災時に地域で活動ができるようにします。
- ・災害発生時に災害VCを効率よく設置・運営します。

(令和6年度目標)

- 1 広報誌「ぴーぷる」やHP等を活用し講座の周知を行います。また災害ボランティア登録者に、講座等の参加を促します。
- 2 青年会議所、佐久大学、災害ボランティア登録者等と研修会を開催します。

年度 項目	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
受講者数	24 名	10 名	20 名	30 名
新規災害ボランティア登録者数	0 名	48 名	5 名	10 名

(具体的な取組：何をいつまでに)

- 1 4月：講座の企画、チラシの作成をします。
- 2 5月：広報誌「ぴーぷる」やHP等を活用し講座の周知を行います。
- 3 5月：受講者の申込受付を行います。
- 4 災害ボランティア講座（予定）  
 期日：6月15日（土）  
 場所：あいとびあ臼田 ホール  
 内容：講義「災害ボランティア養成研修」  
 講師：ピースボード災害支援センター

## 7 育児・介護“助っ人”養成講座

(実施目的)

ファミリーサポート事業と介護助っ人事業を実施するために、育児支援会員、介護支援会員を養成します。

(中長期目標)

登録支援会員を増やします。

(令和6年度目標)

広報誌「ぴーぷる」やHP等を活用し講座の周知を行い、講座受講後、登録支援会員を増やします。

年度 項目	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
育児助っ人養成講座受講者数	20 名	28 名	30 名	20 名
育児支援会員(新規)登録者数	12 名	4 名	10 名	20 名
介護助っ人養成講座受講者数	13 名	(28)名	30 名	20 名
介護支援会員(新規)登録者数	4 名	7 名	10 名	20 名
支援会員研修会受講者数	0 名	(28)名	30 名	40 名

(具体的な取組：何をいつまでに)

- 1 5月：育児助っ人、介護助っ人養成講座の企画、チラシの作成します。
- 2 6月：広報紙「ぴーぷる」やHP等を活用し介護助っ人養成講座の周知を行い、受講者の申込受付を行います。
- 3 6月～7月：介護助っ人養成講座を3回開催する。アンケート調査を実施し、次年度の講座内容に反映します。
- 4 9月：広報紙「ぴーぷる」やHP等を活用し育児助っ人養成講座の周知を行い、受講者の申込受付を行います。
- 5 11月～12月：育児助っ人養成講座を3回開催し、アンケート調査を実施します。
- 6 令和7年2月：支援会員を対象に支援会員研修会を開催します。

## 8 安心コール事業

(実施目的)

希望する70歳以上のひとり暮らし高齢者等に、ボランティアの方が電話による安否確認と話し相手になります。

(中長期目標)

ボランティアと連携し安心コール事業を実施します。

(令和6年度目標)

安心コールボランティアが電話による安否確認と話し相手になります。

年度 項目	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
実施日数	191日	186日	180日	180日
延べボランティア数	152名	161名	170名	165名
登録者数	90名	82名	60名	55名
延べコール回数	2,156回	2,172回	2,160回	2,170回

(具体的な取組：何をいつまでに)

- 1 4月～令和7年3月：ボランティアの方が電話による安否確認と話し相手になります。  
\*ひとり暮らし高齢者を対象とした安否確認を行う事業があるため、令和5年度から新規希望者の受付は行っておりません。

## 9 お元気レター事業

(実施目的)

ボランティアが描いた絵手紙を、希望する70歳以上のひとり暮らし高齢者等に郵送し、その絵手紙を通して高齢者の孤独感を解消し、安心して生活していただくために実施します。

(中長期目標)

ボランティアと連携し、お元気レター事業を実施します。

### (令和6年度目標)

希望する70歳以上のひとり暮らし高齢者等に絵手紙を郵送します。

年度 項目	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
登録者数	584名	552名	570名	560名
延べ利用者数	2,215名	1,718名	2,280名	2,000名
ボランティア数	86名	64名	70名	70名

#### (具体的な取組：何をいつまでに)

- 4月～令和7年3月：ボランティアグループ、個人ボランティアから提供いただいた絵手紙を、希望する70歳以上のひとり暮らし高齢者等に郵送します。
- 令和7年3月：新規ボランティア育成と既存団体へのフォローアップとして、絵手紙講習会を開催します。

## 10 地域福祉講座

### (実施目的)

「ふくし」について学び体験し、一人ひとりがしあわせに暮らしていけるよう、自分のことや他の人に支えられてもらいながら笑顔で過ごせる大切さを学ぶ。また、講座終了後、ボランティア登録をしていただき、地域福祉事業にご協力いただけるよう、講座の中で、社協事業についても併せて紹介をします。

### (中長期目標)

地域福祉活動に向けて協力してくださるボランティアを養成します。

### (令和6年度目標)

広報誌「ぴーふる」やHPの他に、SNSや報道機関でも講座のPRをします。

年度 項目	R5 年度見込	R6 年度目標
受講者数	40名	60名

#### (具体的な取組：何をいつまでに)

- 4月：講座の企画、チラシの作成をします。
- 5月：広報紙「ぴーふる」やHP等を活用し地域福祉講座の周知を行い、受講者の申込受付をします。
- 5月～令和7年3月：地域福祉講座を2回開催します。

## 地域福祉部門（各種相談体制の充実）

### 11 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

#### （実施目的）

長野県社会福祉協議会の委託を受けて、低所得世帯や障がい者世帯、高齢者世帯に対し、資金の貸付けと必要な相談、支援を行い、その世帯の経済的自立、生活意欲の助長促進、在宅福祉及び社会参加の促進を図ります。

#### （中長期目標）

貸付けに対する相談を通して明らかとなった相談者の生活課題に対して、まいさば佐久市と連携して効果的、効率的な支援を実施し自立の促進を図ります。

#### （令和6年度目標）

経済的な困りごとでの相談に対応しつつ、その他の生活課題に対しても他機関、事業を紹介・連携することで自立した生活に向けて積極的支援を行います。

年度 項目	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度見込
貸付件数	157 件	63 件	20 件	25 件
貸付金額	51,560,000 円	24,086,000 円	5,595,000 円	6,500,000 円

#### （具体的な取組：何をいつまでに）

- 1 新規の貸付けについては相談者の生活状況を把握するために丁寧な面談を行い、困りごとの内容によっては他機関へ繋ぎ連携を図りながら支援します。（通年）
- 2 償還が滞っているケースについて、現状把握に努め、県社協・生活困窮者自立支援機関などと連携し借受人の困りごとへの対応を積極的に行います。（通年）

### 12 緊急小口資金等特例貸付実施後の相談支援体制強化事業（県社協補助事業）

#### （実施目的）

新型コロナウイルス感染拡大に対する緊急小口資金特例貸付後、償還が困難になっている世帯や新たな生活課題を抱えている世帯などに対する相談支援体制を強化します。

#### （中長期目標）

相談者の生活課題へのフォローアップを生活困窮者自立相談支援機関等と連携し積極的に行います。

#### （令和6年度目標）

- 特例貸付後の償還免除や償還困難な世帯等のフォローアップ支援を行います。
- 償還が困難になっている世帯や新たな生活課題を抱えている世帯の把握をするとともに、必要な人員配置及びその育成並びに相談支援機能の強化を図ります。

年度 項目	R5 年度	R6 年度見込
支援者把握件数	20 件	30 件

(具体的な取組：何をいつまでに)

- 1 福祉課内に、相談支援係を設置し相談体制の強化を図ります。
- 2 コロナ特例貸付の償還が開始されているが、返済が滞っている方や償還免除となった方々へ生活状況の確認を行うとともに、生活困窮者自立支援機関や地域福祉係などと連携し、借受人の困りごとへの対応を進めます。

### 13 日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

(実施目的)

長野県社会福祉協議会の委託を受け、佐久市及び南佐久管内の基幹的社協として、判断能力に不安がある認知症の高齢者、知的障がい者、精神障がい者に対して、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等を支援します。

(中長期目標)

各種相談業務との情報共有や連携を図ります。

(令和 6 年度目標)

年度 項目	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
相談件数	3,639 件	3,599 件	1,830 件	1,900 件
契約件数	57 件	44 件	39 件	40 件

\*令和 5 年度より相談件数の数え方を変更。

(具体的な取組：何をいつまでに)

- 1 4 月 : 生活支援員との雇用契約を行います。
- 2 5 月～7 月 : 町村社協に対し事業説明を行い事務局移管について検討していただきます。  
(南相木村)
- 3 8 月～9 月 : 生活支援員を対象に研修会を開催します。  
: 専門員研修に参加します。
- 5 4 月～令和 7 年 3 月 : 契約件数や個別ケースの中身を把握しながら、生活支援員を増やします。



## 14 生活困窮者自立支援事業（市受託事業）

### （実施目的）

生活困窮者自立支援法に基づき、市内に居住する生活困窮者などが困窮状態から早期に脱却するため、支援対象者の自立と尊厳を確保しつつその状況に応じて包括的かつ継続的な支援を実施するとともに、地域における早期把握のためのネットワークを構築し、支援対象者の自立・就労支援の促進を図ります。

### （中長期目標）

- 関係機関との連携を強化し、課題解決につながる支援体制を構築します。
- 企業との連携を図り、体験就労を受け入れていただける企業開拓を進めます。
- 社会的な居場所づくりを進め、すでに実施している団体と連携を深めます。

### （令和6年度目標）

- 体験就労受入先企業の新規開拓目標 3件
- 青年会議所との連携を目指します。

年度 項目	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
新規相談受付件数	274 件	282 件	270 件	270 件
プラン作成件数	47 件	28 件	60 件	60 件
一般就労者数	35 件	26 件	30 件	30 件

### （具体的な取組：何をいつまでに）

- 1 自立相談支援事業に基づく相談支援の実施。
- 2 自立相談支援の機能強化として、アウトリーチによる相談支援。
- 3 住居確保給付金事業、その他生活困窮者自立支援法に基づく任意事業の相談支援。
- 4 家計改善支援事業との連携強化のため、まいさぼ相談員が業務を兼務します。
- 5 必要に応じて、食糧支援を行います。
- 6 生活福祉資金の貸付相談に同席し、必要に応じて自立支援を行います。
- 7 支援課題に応じた関係機関に繋げることで、包括的な支援を行います。
- 8 支援調整会議の開催（毎月1回）
- 9 無料職業紹介事業の実施（新）

## 15 家計改善支援事業（市受託事業）

### （実施目的）

生活困窮者に対し、家計の状況を「見える化」し、利用者の家計管理の意欲を引き出す改善相談を行い、生活の早期再生を図れるよう支援します。

### (中長期目標)

自立相談支援機関「まいさぼ佐久市」が業務を兼務することで、生活状況の把握を行い事業の利用促進を図ります。

### (令和6年度目標)

まいさぼ佐久市が業務の兼務を行い、市や関係機関と情報の共有や連携を図り、家計の状況を「見える化」し、利用者の家計管理の意欲を引き出す改善相談を行います。

年度 項目	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
延べ相談件数	115 件	148 件	150 件	150 件
プラン件数	2 件	5 件	8 件	8 件

### (具体的な取組：何をいつまでに)

- 1 複合的な生活課題がある中で、継続的な相談をしながら家計管理意欲を引き出すための課題整理を関係機関と連携します。
- 2 支援プランを立て家計表を作成しながら家計の問題点が見える化し、課題解決に向けて相談者自身が考え行動できるように、寄り添いながら支援を行います。

## 16 さく成年後見支援センター運営事業（広域連合受託事業）

### (実施目的)

佐久広域連合の委託を受け、佐久圏域市町村、福祉関係者からの成年後見制度に関する二次相談及び利用支援を行う。また、経済的理由等で、後見人候補者が得られない方の法人後見受任を行い、権利擁護の促進を図ります。

### (中長期目標)

中核機関としての機能強化と人材育成を行います。

### (令和6年度目標)

中核機関職員向け研修及び、ばあとなあ研修受講に必要な要件である基礎研修受講等、人材育成を図り、中核機関としての機能・体制を整備する。また、制度の普及啓発のため、関係機関や地域に出向き出前講座を開催し、周知を図ります。

年度 項目	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
相談支援件数	389 件	772 件	650 件	750 件
法人後見受任者	32 件	34 件	50 件	55 件

### (具体的な取組：何をいつまでに)

- 1 中核機関として、地域連携ネットワークの構築や権利擁護・相談体制を強化する。（通年）
- 2 制度の普及啓発として、住民及び福祉職員向け研修の開催や、佐久圏域成年後見中核機関連絡会の開催、出前講座を適宜開催します。（通年）

## 17 結婚相談事業・婚活講座事業

### (実施目的)

出逢いの機会が少ない結婚を希望する男女に、出逢いの場を提供します。

登録者を対象に婚活講座を開催し、コミュニケーションの取り方や身だしなみについて学んで自分磨きをし、婚活パーティー等へ送り出します。

### (中長期目標)

登録者の増加を目指し、成婚件数を上げます。

### (令和6年度目標)

婚活講座を開催することで、新規登録者の増加を目指し成婚件数を上げます。

年度 項目	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
延べ相談件数	123 件	122 件	133 件	200 件
見合い件数	26 件	22 件	25 件	30 件
成婚数	1 組	1 組	1 組	1 組

### (具体的な取組：何をいつまでに)

- 1 4月～令和7年3月：結婚相談所の開設をします。
- 2 4月：広報誌「ぴーぷる」やHP、報道機関等で相談所の周知を行います。
- 3 8月：婚活講座の周知をします。
- 4 9月下旬：婚活講座を開催し、アンケート調査を実施します。

#### 婚活イベント（予定）

会場：佐久市福祉総合センター

内容：出会いの場の提供

対象者：①原則、結婚相談所登録者 定員 男女各 15 名

- 5 4月・10月：結婚相談員会議を開催し情報交換を行います。

## 地域福祉部門（地域福祉活動の推進）

### 18 ふれあいいきいきサロン事業（世話人交流会事業含む）

（実施目的）

（ふれあいいきいきサロン事業）

地区の集会施設等を利用して、高齢者等を対象に地域での孤立化、閉じこもり予防、認知症予防を目的に区単位でサロンを開催します。また、本協議会の役割としては、助成金交付やサロン立ち上げ支援、プログラム内容の相談や講師紹介等をします。

（世話人交流会事業）

世話人の資質向上と世話人同士の情報交換のために開催します。

（中長期目標）

市内全区でサロンが実施できるように積極的に各区へ出向きます。

（令和6年度目標）

未開催区対象に、ふれあいいきいきサロン事業について説明会を開催し、開催を希望する区を対象に出前講座を実施します。

年度 項目	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
開催区数	38 区	38 区	65 区	67 区
延べ参加者数	1,723 名	2,634 名	2,547 名	3,000 名
新規立ち上げ区数	0 区	1 区	1 区	1 区

（具体的な取組：何をいつまでに）

- 1 4月～令和7年3月：地区サロンへ出向きアセスメントシートをもとに、地域の困りごとの情報収集をします。
- 2 4月：出前講座のチラシを配布し未開催地区への呼びかけを行います。
- 3 6月：未開催区役員（区長、民生児童委員）への説明会を開催します。
- 4 9月：サロンの開催状況について確認をします。
- 5 令和7年2月～3月：各地区で世話人交流会を開催します。

### 19 ファミリーサポート事業「ほっと・ホット」（育児支援）

（実施目的）

地域で誰もが安心して助け合いながら、生活ができる地域づくりを目指して、育児支援が必要な家庭に対し、支援会員が有償で支援し地域で安心して生活できる地域づくりを推進します。

（中長期目標）

子育て支援の充実を図ります。

### (令和6年度目標)

広報誌「ぴーぷる」やHP等を活用し事業の周知及び育児支援会員の募集をします。

年度 項目	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
利用者数	19名	19名	30名	40名
延利用時間	263時間	307時間	400時間	450時間

(具体的な取組：何をいつまでに)

- 1 4月～令和7年3月：広報誌「ぴーぷる」やHP等を活用し事業の周知をします。
- 2 5月：ファミリーサポートセンター化に向けて行政へ依頼します。
- 3 4月～令和7年3月：育児支援会員の募集をします。
- 4 令和7年2月：育児支援会員研修会を開催します。

## 20 介護助っ人事業（介護支援活動）

### (実施目的)

地域で誰もが安心して助け合いながら、生活ができる地域づくりを目指して、介護支援が必要な家庭に対し、支援会員が有償で支援し地域で安心して生活できる地域づくりを推進します。

### (中長期目標)

介護支援の充実を図ります。

### (令和6年度目標)

広報誌「ぴーぷる」やHP等を活用し事業の周知及び介護支援会員の募集をします。

年度 項目	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
利用者数	24名	21名	24名	25名
延利用時間	501時間	323時間	260時間	450時間

(具体的な取組：何をいつまでに)

- 1 4月～令和7年3月：広報誌「ぴーぷる」やHP等を活用し事業の周知をします。
- 2 4月～令和7年3月：介護支援会員の募集をします。
- 3 令和7年2月：介護支援会員研修会を開催します。

## 21 敬老会助成

### (実施目的)

地域福祉活動を支える組織の活性化を図ることを目的に、敬老事業を実施した区、または公民館へ、本協議会の「敬老会助成金交付要綱」に基づき、経費の一部を助成する。70歳以上の高齢者一人当たり600円（市300円＋社協300円）の助成をします。

(中長期目標)

敬老会助成のための財源確保と助成対象者年齢等の見直しを図ります。

(令和6年度目標)

年度 項目	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度予定
助成者数	21,978 名	22,618 名	22,681 名	26,235 名
助成額	13,112,902 円	13,535,975 円	13,576,848 円	15,741,000 円
(内)社協助成額	6,689,676 円	6,767,900 円	6,788,424 円	7,870,500 円

(具体的な取組：何をいつまでに)

- 1 7月より申請手続きが行えるよう準備し、9月の敬老の日までに助成金の支払ができるように進めます。

## 22 社会福祉大会

(実施目的)

地域の福祉課題を取り上げ、解決するため、式典・表彰・実践発表・講演会等を通して、地域福祉活動への関心を深めることを目的に開催します。(市と共催)

(中長期目標)

幅広い世代が参加できる社会福祉大会の開催を目指します。

(令和6年度目標)

年度 項目	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
参加者数	中止	196 名	209 名	250 名
会長表彰・感謝状	10 名	13 名・1 団体	3 名	8 名
会長表彰(団体)	1 団体	1 団体	0	1 団体

(具体的な取組：何をいつまでに)

- 1 10月～11月の開催を目指し、開催方法について市と協議を進めます。
- 2 実践発表の方法を年度当初に検討し、若い年齢層が運営に関われるような大会を目指します。
- 3 被表彰者の選出について、5月に実施する市の高齢者実態調査に合わせて民生児童委員に依頼します。併せて、各地域包括支援センターへも照会をかけます。
- 4 実践発表では、市内の社会福祉普及校や大学等の発表ができるよう声かけをします。
- 5 市や本協議会の広報誌、HP等、民間の広報媒体を活用し広報宣伝を行います。

## 23 佐久ふれあい広場

### (実施目的)

障がいの有無、老若男女を問わず、多くの人と出会い・ふれあい・語り合いを通して、誰もが優しい心をもって、お互いに支え合える住みよい地域づくりを一緒に考える場とします。

### (中長期目標)

事業周知の工夫を図ります。

### (令和6年度目標)

開催チラシを作成し、多くの来場者にお越しいただけるよう、報道機関へ依頼し事業のPRを行います。

年度 項目	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
開催日	中止	中止	10月15日	10月20日
実行委員数	70名	81名	35名	40名
来場者数	-	-	400名	400名

### (具体的な取組：何をいつまでに)

- 6月上旬：第1回実行委員会を開催します。
- 9月下旬：第2回実行委員会を開催します。
- 9月下旬～10月上旬：報道機関へ事業のPRを行います。
- 開催日・会場（予定）  
日 時：10月20日（日）午前9時30分～  
場 所：あいとぴあ白田

## 24 地域福祉活動計画策定評価事業

### (実施目的)

市の第四次地域福祉活動計画と整合を図りつつ、「人と人がつながり支え合う地域づくり」を基本理念として、計画進行管理を定期的に評価・分析を行います。

### (中長期目標)

評価分析をし事業を進め、第四次地域福祉活動計画に活かします。

### (令和6年度目標)

令和5年度事業について評価・分析をし次年度事業に反映させます。

年度 項目	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
作成状況	第三次評価分析	第三次評価分析	第四次評価分析	第四次評価分析
	第四次策定タイム スケジュール作成	第四次地域福祉 活動計画策定	第四次地域福祉 活動計画事業状況	第四次地域福祉 活動計画事業状況

(具体的な取組：何をいつまでに)

- 1 6月：佐久市地域福祉活動計画策定評価部会（予定）  
期日：6月上旬  
場所：佐久市福祉総合センター  
内容：第四次地域福祉活動計画評価について  
出席者：部員

## 25 フードドライブ事業

(実施目的)

家庭や職場に眠っている食品を集め、「まいさぼ佐久市」等を通じて、食糧を必要としている方にお届けするほか、子ども食堂への食糧提供も考えます。

(中長期目標)

生活困窮者や子ども食堂等に食糧の提供をします。

(令和6年度目標)

広報誌「ぴーぷる」やHPの他、SNSや報道機関でも事業の周知を行い、多くの食品を集め生活困窮者等へ食糧支援をします。

年度 項目	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
協力者数	123名	123名	150名	160名
食品点数	3,840点	4,551点	4,000点	4,500点

(具体的な取組：何をいつまでに)

- 1 4月～令和7年3月：年間を通して事業を実施します。  
(平日受付場所：社協本所・各支所)
- 2 4月～令和7年3月：広報誌「ぴーぷる」やHPの他にSNSや報道機関で事業開催の周知募集を併せて行います。

## 26 地区社会福祉協議会事業

(実施目的)

地区社会福祉協議会は、地域住民に最も身近な社協として「地域福祉活動」を支援し、共に支え合う地域づくりのため、市内7地区に地区社会福祉協議会を設置しています。

(中長期目標)

支え合う地域社会を構成します。

(令和6年度目標)

7地区社協の地区長を対象に情報交換会を開催し、情報の共有を行い、事業に対する意見等を伺い、よりよい活動が出来るように協議をします。



項目	年度			
	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
事業内容	総会・研修会・高齢者お楽しみ会・世代間交流会等			

(具体的な取組：何をいつまでに)

- 1 4月下旬～5月下旬：7地区社会福祉協議会で総会・研修会を開催します。
- 2 6月下旬：7地区社会福祉協議会地区長、副地区長を対象に、地区社会福祉協議会情報交換会、合同研修会を開催します。
- 3 9月：事業の取組み、在り方について検討会を開催します。
- 4 令和7年1月～3月：次年度事業について検討会を開催します。
- 5 令和7年4月：7地区社会福祉協議会会計監査を行います。

## 27 希望の旅事業

(実施目的)

介護保険サービスを利用していない、普段外出することの少ない障がいのある方やその家族を対象に社会交流の場を提供し、生きがいつくり等を高められるよう開催します。

(中長期目標)

事業の継続について見直しを行い検討します。

(令和6年度目標)

広報誌「ぴーぷる」やHPの他、SNSや報道機関で事業の周知を行い、新規参加者の申込を増やします。

項目	年度			
	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
参加者	中止	15名	20名	20名
(内訳)	-	障がい者9名	障がい者14名	障がい者15名
	-	介助者6名	介助者6名	介助者5名

(具体的な取組：何をいつまでに)

- 1 5月：広報誌「ぴーぷる」やHP等を活用し事業の周知を行います。
- 2 6月：希望の旅事業(予定)  
開催日：6月  
行き先：未定 募集人員：20名

## 28 共同募金

(実施目的)

社会福祉法第112条に規定する、地域福祉を推進するため寄付金を募集し社会福祉事業を営む者に配分することを目的とします。

社協のモデル定款に、市区町村社協が取り組むべき事業として掲載され、長野県では「長野県共同募金会共同募金委員会業務に関する申し合わせ事項」を締結し業務を行っています。

**(中長期目標)**

共同募金の配分金の使い道を多くの市民へ周知し、配分金の申請や募金協力について理解を得ます。

**(令和6年度目標)**

年度 項目	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
募金金額	15,505,108 円	14,737,702 円	14,011,667 円	14,500,000 円

**(具体的な取組：何をいつまでに)**

- 1 7月までに応募団体を決め、10月からの募金募集時には、団体と事業を明記して市民の皆様に理解していただき募金を集められるように進めます。
- 2 令和6年度に配分を希望する市内の福祉団体が応募できるように、公募規程を整備します。

## 29 高齢者緊急時連絡票の配布

**(実施目的)**

安心して暮らせる地域づくりを促進するため、市内の70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、訪問者が緊急時に家族や関係機関へ速やかに連絡するための「緊急時連絡票」を民生児童委員の協力を得て希望者へ配布します。

**(中長期目標)**

民生児童委員、区長等との連携強化を図り、ひとり暮らし高齢者の暮らしを守ります。

**(令和6年度目標)**

年度 項目	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
配布枚数	464 枚	664 枚	5,300 枚	700 枚

**(具体的な取組：何をいつまでに)**

- 1 年1回、民生児童委員に依頼し、ひとり暮らし高齢者宅へ連絡票（改善した様式）を配布します。
- 2 区長会や民生児童委員会等に、地域で支え合う協力体制を呼びかけます。
- 3 ひとり暮らし高齢者の実態と新規該当希望者の把握に努めます。
- 4 広報誌「ぴーぷる」やHPに、この事業を掲載し市民に周知します。
- 5 他的高齢者等見守り事業と連携した事業展開ができるよう協議を行います。

## 30 ひとり暮らし高齢者等見守り事業

### (実施目的)

民生児童委員が、乳酸菌飲料をお届けしながら、70歳以上のひとり暮らし高齢者等の安否確認や話し相手などになることで「地域の見守り」を行います。

### (中長期目標)

民生児童委員と連携をし、地域の見守り活動を推進します。

### (令和6年度目標)

本協議会が事業を実施していることを利用者、民生児童委員へPRします。

年度 項目	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
延べ訪問者数	9,003 名	12,676 名	10,900 名	11,000 名

### (具体的な取組：何をいつまでに)

- 1 4月～令和7年3月：月1回、ひとり暮らし高齢者等見守り事業を実施します。  
乳酸菌飲料を配布していただく際に、利用者に日常生活の中で役立つチラシ等やおたよりを同時に配布し情報提供を行う。

## 31 バリアフリーマップ事業

### (実施目的)

障がい者や高齢者、乳幼児連れの方などが、安心して街に出て行動範囲を拡大できるよう、市内の公共施設や商業施設等のバリアフリー情報をHPで提供します。

### (中長期目標)

商業施設等の調査と掲載について充実を図ります。

### (令和6年度目標)

広報誌「ぴーぷる」やHPの他、SNSや報道機関で事業の周知をします。

年度 項目	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
新規登録	0	0	0	2

### (具体的な取組：何をいつまでに)

- 1 4月上旬：HPの他、SNSや報道機関で事業の周知をします。
- 2 5月上旬：社会福祉普及校連絡会議で事業の紹介をします。
- 3 6月：事業の取り組みについて見直しをします。
- 4 12月：法人募金依頼時にバリアフリーマップへの掲載について呼びかけを行います。

## 地域福祉部門（福祉教育事業の充実）

### 32 社会福祉普及校(福祉体験教室・福祉教材用DVD貸出)事業

#### (実施目的)

○児童、生徒、学生が、体験を通して社会福祉の理解と関心を高め、日常生活の中に思いやりの心を育むための活動を行っている小学校、中学校、高等学校、大学等へ1校30,000円の助成をします。

○小・中・高校生等を対象に、障がいのある方の講話や車いす、手話、点字体験等を行う福祉体験教室を開催します。また、福祉教材DVDを活用し福祉に対する理解を深め、思いやりの心を育む学習を行います。

#### (中長期目標)

社会福祉普及校：全校指定を目指します。

福祉体験教室：企業やボランティアグループ等でも実施するよう声かけをします。

福祉教材用DVD貸出：各学校等に、福祉体験教室の事前学習会としてDVDの活用を進めます。

#### (令和6年度目標)

社会福祉普及校会議を開催し、事業の説明を行います。また、ボランティアグループ等を対象に福祉体験教室を開催します。

年度 項目	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
助成校	23 校	22 校	21 校	25 校
体験教室開催校	11 校	8 校	6 校	10 校

#### (具体的な取組：何をいつまでに)

- 1 5月上旬：社会福祉普及校連絡会議を開催します。
- 2 5月中旬～7月：社会福祉普及校申請書の受付を行います。
- 3 5月～令和7年3月：希望する学校等へ出向き福祉体験教室を実施します。
- 4 5月：佐久ふれあい広場実行委員会でボランティアグループ等へ福祉体験の実施について呼びかけを行います。
- 5 9月：ボランティアグループ、企業で福祉体験教室を開催するよう声かけをします。
- 6 令和7年2月～3月：社会福祉普及校事業報告書の受付を行います。

## 地域福祉部門（団体事務）

### 33 日本赤十字社長野県支部佐久市地区

#### （実施目的）

日本赤十字社長野県支部と連携し、日赤活動資金の募集、義援金、救援金の受付、また災害救護活動の支援や赤十字奉仕団事業を推進します。

### 34 佐久市赤十字奉仕団

#### （実施目的）

赤十字の博愛人道の精神に基づき、明るく住みよい社会を築き上げていくための地域社会での奉仕活動に取り組む。また、災害時に備え、行政や自治会等と連携した防災啓発プログラム等の研修に取り組みます。

### 35 佐久市シニアクラブ連合会

#### （実施目的）

「健康、友愛、奉仕」の活動のなかで、仲間づくりをとおして生きがいと健康づくり、生活を豊かにする楽しい活動を行うとともに、その知識や経験を活かして、地域の諸団体と共同し、明るい長寿社会づくり、保健福祉の向上に努める活動を行います。

### 36 佐久市戦没者遺族会

#### （実施目的）

共通の境遇に生きる同志的結束を図り、英霊の顕彰及び戦没者遺族の福祉の向上並びに、会員相互の親睦を図るとともに、地域社会に役立つよう戦史を正しく学び、後世に継承すべく平和活動や事業を実施します。

## 施設管理・運営部門

### 37 佐久市福祉総合センター

#### (実施目的)

福祉団体及びボランティアグループに会議室を無料で開放し、活動の活性化とボランティアの育成を図ります。社協所有の施設を拠点として、多くのボランティアグループ等に使用していただくことで幅広い世代間の交流、情報交換、協働活動を図り新たな活動の展開を促します。

#### (中長期目標)

幅広い世代が施設を使用できるよう利用促進を図ります。

#### (令和6年度目標)

広報誌「ぴーぷる」やHP等で施設の紹介を行い、ボランティアグループや福祉団体等の施設活用を活発にします。

年度 項目	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
利用者数	4,161 名	5,384 名	7,500 名	8,000 名
利用グループ数	493 団体	685 団体	750 団体	800 団体

#### (具体的な取組：何をいつまでに)

- 5月：施設活用紹介等を広報誌「ぴーぷる」やHPに掲載します。  
：佐久市ボランティアセンターとして幅広い世代に施設利用をしてもらえるようPRをします。
- 6月～令和7年3月：修繕が必要な個所については、随時修繕を実施します。

### 38 佐久市老人福祉センター「長寿閣」

#### (実施目的)

市内の高齢者（60歳以上）の生活、健康相談等各種相談に応じ、健康の増進、教養の向上、その他レクリエーション活動の増進と、各種講座の会場場所として使用します。

#### (中長期目標)

高齢者に必要とされる施設運営を行い、継続をします。

#### (令和6年度目標)

広報誌「ぴーぷる」やHP等で施設の紹介を行い施設活用を活発にします。

年度 項目	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
利用者数	6,273 名	7,210 名	10,000 名	10,300 名
入浴利用者数	4,415 名	4,785 名	7,300 名	7,600 名

(具体的な取組：何をいつまでに)

- 1 4月～令和7年3月：市の運営事業負担金により運営します。
- 2 5月～令和7年3月：修繕が必要な個所については、随時修繕を実施します。

## 39 佐久市臼田老人福祉センター

(実施目的)

市内の高齢者（60歳以上）の生活、健康相談等各種相談に応じ、健康の増進、教養の向上、その他、レクリエーション活動の増進と各種講座の会場場所として使用します。

(中長期目標)

高齢者に必要とされる施設運営を行い、継続をします。

(令和6年度目標)

広報誌「ぴーふる」やHP等で施設の紹介を行い施設活用に繋がります。

年度 項目	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
利用者数	457名	212名	240名	240名

(具体的な取組：何をいつまでに)

- 1 4月～令和7年3月：市の運営事業負担金により運営します。
- 2 6月～令和7年3月：修繕が必要な個所については、随時修繕を実施します。

## 40 佐久市臼田総合福祉センターあいとぴあ臼田

(実施目的)

○地域における総合福祉及びふれあい拠点として市民の福祉と意識の高揚を図ることを目的に管理運営を行います。

○平成17年度から市の「指定管理者制度」により佐久市社会福祉協議会が管理しています。

(中長期目標)

総合福祉施設として施設管理運営を行います。

(令和6年度目標)

○年間貸館見込利用者数 48,000人 ○年間お風呂見込利用者数 10,000人  
(新型コロナウイルス感染症の感染状況により増減あり)

年度 項目	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
利用者数	31,227名	37,800名	48,000名	48,000名
入浴利用者数	6,848名	6,714名	10,000名	10,000名

(具体的な取組：何をいつまでに)

- 1 4月～令和7年3月：市の指定管理協定により運営します。
- 2 6月～令和7年3月：修繕が必要な個所については、随時修繕を実施します。

## 41 浅科保健センター

### (実施目的)

○市民の健康の保持及び保健衛生の向上に資するための総合的な保健サービスの拠点として管理運営を行います。

○平成 17 年度から市の「指定管理者制度」により佐久市社会福祉協議会が管理しています。

### (中長期目標)

総合的な保健サービス・福祉拠点として管理運営を行います。

### (令和 6 年度目標)

継続して健全な施設管理運営を行います。

年度 項目	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
利用者数	11,081 名	11,463 名	12,000 名	12,000 名

### (具体的な取組：何をいつまでに)

- 1 4月～令和 7 年 3 月：市の指定管理協定により運営します。
- 2 4月～令和 7 年 3 月：修繕が必要な個所については、随時修繕を実施します。

## 42 佐久市望月老人福祉センター

### (実施目的)

○地域の高齢者の健康増進、憩いの場として施設の保守管理、利用者の送迎、入浴業務、ふれあいいきいきサロンの開催場所として管理運営を行います。

○平成 17 年度から市の「指定管理者制度」により佐久市社会福祉協議会が管理しています。

### (中長期目標)

高齢者に必要とされる施設運営を行い、継続をします。

### (令和 6 年度目標)

広報誌「ぴーぷる」やHP等で施設の紹介を行い施設活用を活発にします。

年度 項目	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
利用者数	3,979 名	4,331 名	5,200 名	6,200 名
入浴利用者数	3,821 名	4,093 名	5,000 名	6,000 名

### (具体的な取組：何をいつまでに)

- 1 4月～令和 7 年 3 月：市の指定管理協定により運営します。
- 2 5月～9月：施設活用紹介等を広報誌「ぴーぷる」やHPに掲載します。
- 3 6月～令和 7 年 2 月：修繕が必要な個所については、随時修繕を実施します。



## 介護保険・障害福祉部門

### 43 佐久市あいとびあ臼田サービスセンター

#### (実施目的)

利用者が住み慣れた自宅や地域で、その有する能力に応じ可能な限り日常生活を営むことができるように、通所により心身機能の維持または向上を目指し支援を行うと共に、介護者の負担軽減を図ります。

#### (中長期目標)

認知症対応型事業所介護及び基準該当障害福祉サービスの新規利用者の増員を積極的に図り、安定した経営に努めます。

#### (令和6年度目標)

- 1 地域に必要とされる施設を目指します。  
利用者延べ人数目標値  
認知症対応型 (1,408 人/年) 総合事業 (695 人/年) 一般型 (6,016 人/年) 基準該当障害福祉サービス (364 人/年)
- 2 職員の資質向上および職員間の連携強化で、明るくやりがいのある職場を目指します。
- 3 施設や物品を大切に使用し、経費削減を目指します。

年度 項目	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
延べ利用者数	7,643 名	8,459 名	8,506 名	8,480 名
報酬額	72,369,713 円	82,967,834 円	84,267,000 円	81,186,000 円

#### (具体的な取組：何をいつまでに)

- 1 関係機関に施設の強みをアピールします。  
月一回の居宅支援事業所への実績配布時に合わせ、活動状況や取り組みなどの紹介を行います。また「ぴーぷる」および「ホームページ」の活用も積極的に行います。
- 2 サービス向上のための研修会を多く企画し、職員の資質向上と連携強化を図ります。
- 3 施設や物品を大切に使用し、修繕・修理は早めに行います。また、水道光熱費の縮減に努め、こまめに節水・節電を行います。

### 44 佐久市浅科サービスセンター

#### (実施目的)

利用者が住み慣れた自宅や地域で、その有する能力に応じ可能な限り日常生活を営むことができるように、通所により心身機能の維持または向上を目指し支援を行うと共に、介護者の負担軽減を図ります。

### (中長期目標)

閉所に向け、利用者の移行がスムーズに行えるよう、利用者・家族・ケアマネージャー等各関係機関と調整します。

### (令和6年度目標)

- 1 利用者が安全に居心地の良い環境で過ごすことができるよう、職員会議や研修等を実施し職員の意思の統一を図りサービス提供にあたります。

利用者延べ人数目標値

総合事業（935人/年） 地域密着型（1,935人/年）

基準該当障害福祉サービス（52人/年）

- 2 利用者の安全と経費削減を意識しながら全職員が職務にあたります。

年度 項目	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
延べ利用者数	3,604 名	3,148 名	3,021 名	2,920 名
報酬額	37,052,941 円	31,852,002 円	29,071,000 円	28,043,000 円

### (具体的な取組：何をいつまでに)

- 1 研修や会議を通して課題や問題点を職員全員で話し合い、サービスの質の向上に向けて業務にあたります。
- 2 ケアマネ事業所には月1回の活動報告を実施し、地域には施設の活動を知っていただくために、ぴーぷる等の活用やボランティアの導入をします。
- 3 修繕箇所については早めに対応し利用者の安全に努める。職員全員で光熱費や経費削減について意識を持つよう職員会議で周知します。
- 4 令和6年度末の指定管理期間満了をもって、浅科ディサービスセンターの指定管理の受託は終了とします。

## 45 就労継続支援B型 臼田共同作業センター

### (実施目的)

障がい者に対し、就労や生産活動の機会を提供するとともに、社会参加や一般就労に必要な知識・技能を高め、一般就労への移行を視野に入れた支援を行います。

### (中長期目標)

継続利用だけでなく、通過施設としての役割も担う事で利用者確保に繋がります。農業と福祉の連携及び自主製品製作販売など、積極的な事業拡大に努めます。

### (令和6年度目標)

- 1 継続的利用者の増員を図り安定した経営に努めます。
- 2 自主製品の開発に努め、製作利用者の育成を行います。

年度 項目	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
延べ利用者数	4,970 名	4,745 名	4,352 名	4,380 名
報酬額	36,259,250 円	34,896,470 円	31,995,620 円	32,345,000 円

(具体的な取組：何をいつまでに)

- 1 安定したサービスを提供できる人員配置・支援体制を整えます。
- 2 利用者に適した作業内容及び作業量の策定を行います。
- 3 ニーズに応じたサービス提供が出来ているか随時見直しを行います。
- 4 関係諸機関と連絡を取りながら、利用者の確保を図ります。

## 46 就労継続支援B型 浅科ふれあいホーム

(実施目的)

障がい者に対し、就労や生産活動の機会を提供するとともに、社会参加や一般就労に必要な知識・技能を高め、一般就労への移行を視野に入れた支援を行います。

(中長期目標)

利用者の状況に応じた対応を行い、必要な関係機関に繋がります。  
福祉の関係機関との連携を強化し新規利用者の増員を図ります。

(令和6年度目標)

- 1 継続的利用者の増員を図り安定した経営に努めます。
- 2 請負企業の作業だけでなく、自主製品の開拓を行い作業の幅を広げます。

年度 項目	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
延べ利用者数	4,330 名	4,469 名	4,425 名	4,560 名
報酬額	32,598,690 円	36,595,510 円	33,750,000 円	34,100,000 円

(具体的な取組：何をいつまでに)

- 1 利用者の体調等に適した支援を見直し各関係者と調整します。
- 2 新規利用者増と安定した利用を図り相談支援・関係機関と連携します。
- 3 個々の能力に適した作業を提供し意欲を高めスキルアップに繋がります。
- 4 研修、会議等で職員の資質向上と連携した支援の強化に努めます。

## 47 佐久市社協特定相談支援事業所

### (実施目的)

障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する為、法律に基づき利用者の有する能力、その置かれている環境及び障がい特性を考慮し、自立した生活を営む事が出来るように、必要な相談支援を行うと同時に、支援者間の連携を図り適切な支援を行います。

### (中長期目標)

相談支援専門員の資質向上と計画的な人材育成を行います。

### (令和6年度目標)

- 1 資格要件を満たす職員を計画的に受講させ相談支援専門員資格を取得し、事業継続が出来るようにします。
- 2 精神障がい者支援並びに障がい児に関する研修を行いスキルアップを図ります。
- 3 継続的な利用者の確保を図り、安定した経営に努めます。

年度 項目	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度見込	R6 年度目標
実利用者数	1,283 名	1,270 名	1,329 名	1,250 名
報酬額	7,072,640 円	6,451,830 円	6,345,700 円	6,232,000 円

### (具体的な取組：何をいつまでに)

- 1 資格要件を満たす職員を協議会内より選び研修を受講します。
  - 初任者研修 (9月～11月予定)
  - 強度行動障害実践者研修 (7月～10月予定)
- 2 現任研修を受講します。(10月～12月予定)

## 48 佐久市社協多機能型事業所くれよん

### (実施目的)

生活介護では利用者が住み慣れた自宅や地域で、その有する能力に応じ可能な限り日常生活を営むことができるように支援し、社会参加や生きがい活動への意欲向上を目指すとともに、介護者の負担軽減を図ります。放課後等デイサービスでは支援を必要とする障がい児に対し学校や家庭とは異なる時間・居場所・体験等を通して個々に応じた支援プログラムを提供し、学校休業日等の受け入れをする事で保護者支援を図ります。

### (中長期目標)

利用者及び家族(保護者)から選ばれる施設を目指し安定した経営に努めます。

### (令和6年度目標)

- 1 地域への宣伝活動を通し交流活動の促進とボランティアの受け入れを積極的に行います。
- 2 計画に基づいた継続的な活動を通して利用者や家族からの信頼を獲得します。
- 3 個々の特性に応じた支援が出来るように職員の資質向上をします。

項目		年度			
		R3年度実績	R4年度実績	R5年度見込	R6年度目標
生活介護	延べ利用者数	1,618名	2,519名	2,372名	2,300名
	報酬額	13,276,444円	21,865,622円	22,622,322円	21,938,000円
デイサービス 放課後等	延べ利用者数	1,209名	1,482名	1,343名	1,380名
	報酬額	8,505,204円	11,880,982円	11,611,407円	12,073,000円

(具体的な取組：何をいつまでに)

- 1 日頃の活動を広報誌（ぴーぷる等）に活用し、積極的にアピールします。
- 2 障害特性に対してのウェブでの学習機会を全職員に提供し資質向上をします。  
（無料の県作業療法士会や知的障害者協会等の物を視聴する）
- 3 新型コロナウイルスの感染状況に応じて地域ボランティアの活用をします。
- 4 職員会議を毎月定例で行う事で、支援方針を統一できるようにしながら活動内容を検討する機会とします。